

CASBEE京都-新築(2015年版)
 (仮称)京都市南区ホテル

■使用評価マニュアルCASBEE京都-新築(2015年版)
 ■評価ソフト: CASBEE京都-新築2015 (v.1.0)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	重点項目等	重点項目に対する全国版評価基準の見直し	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質								
Q1 室内環境								
1 音環境								
2.6 0.15 3.2 1.00 3.0								
1.1 騒音								
3.0 0.40 3.0 0.40								
1.2 遮音								
3.0 0.40 3.6 0.40								
1 開口部遮音性能								
サッシ遮音等級T-2仕様								
2 界壁遮音性能								
3.0 1.00 5.0 0.30								
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)								
3.0 - 3.0 0.20								
4 界床遮音性能(重量衝撃源)								
3.0 - 3.0 0.20								
1.3 吸音								
1.0 0.20 3.0 0.20								
2 温熱環境								
2.3 0.35 3.0 1.00 2.8								
2.1 室温制御								
2.5 0.50 3.0 0.50								
1 室温								
3.0 0.38 3.0 0.57								
2 外皮性能								
1.0 0.25 3.0 0.43								
3 ゾーン別制御性								
3.0 0.38 - -								
2.2 湿度制御								
1.0 0.20 3.0 0.20								
2.3 空調方式								
3.0 0.30 3.0 0.30								
3 光・視環境								
3.3 0.25 3.3 1.00 3.3								
3.1 昼光利用								
4.2 0.30 4.2 0.30								
1 昼光率								
●自然 A(全国版準用) 昼光率2.5%以上								
5.0 0.60 5.0 0.60								
2 方位別開口								
- - 3.0 -								
3 昼光利用設備								
●自然 B(推奨内容) 3.0 0.40 3.0 0.40								
3.2 グレア対策								
3.0 0.30 3.0 0.30								
1 昼光制御								
●自然 B(推奨内容) 3.0 1.00 3.0 1.00								
3.3 照度								
3.0 0.15 3.0 0.15								
3.4 照明制御								
3.0 0.25 3.0 0.25								
4 空気質環境								
3.2 0.25 3.1 1.00 3.1								
4.1 発生源対策								
4.0 0.50 4.0 0.63								
1 化学汚染物質								
全面的に☆☆☆☆製品を使用								
4.0 1.00 4.0 1.00								
2 アスベスト対策								
- - - -								
4.2 換気								
2.0 0.30 1.6 0.38								
1 換気量								
3.0 0.50 3.0 0.33								
2 自然換気性能								
●自然 A(全国版準用) 3.0 - 1.0 0.33								
3 取り入れ外気への配慮								
1.0 0.50 1.0 0.33								
4.3 運用管理								
3.0 0.20 - -								
1 CO ₂ の監視								
3.0 - - -								
2 喫煙の制御								
3.0 1.00 - -								
Q2 サービス性能								
- 0.30 - - 2.8								
1 機能性								
2.5 0.40 2.8 1.00 2.7								
1.1 機能性・使いやすさ								
3.0 0.40 3.0 0.60								
1 広さ・収納性								
3.0 - 3.0 0.50								
2 高度情報通信設備対応								
3.0 - 3.0 0.50								
3 バリアフリー計画								
●大切 D(独自基準) 3.0 1.00 - -								
1.2 心理性・快適性								
1.0 0.30 2.5 0.40								
1 広さ感・景観								
●とも C(独自加点) 宿泊部の天井高さ2.5m								
3.0 - 4.0 0.50								
2 リフレッシュスペース								
3.0 - - -								
3 内装計画								
●自然 D(独自基準) 1.0 1.00 1.0 0.50								
1.3 維持管理								
3.5 0.30 - -								
1 維持管理に配慮した設計								
維持管理しやすい材料の選定								
4.0 0.50 - -								
2 維持管理用機能の確保								
3.0 0.50 - -								
3 衛生管理業務								
- - - -								
2 耐用性・信頼性								
3.2 0.30 - - 3.2								
2.1 耐震・免震								
3.0 0.50 - -								
1 耐震性								
3.0 0.80 - -								
2 免震・制振性能								
3.0 0.20 - -								
2.2 部品・部材の耐用年数								
3.8 0.30 - -								
1 躯体材料の耐用年数								
●大切 A(全国版準用) 3.0 0.20 - -								
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔								
3.0 0.20 - -								
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔								
3.0 0.10 - -								
4 空調換気ダクトの更新必要間隔								
3.0 0.10 - -								
5 空調・給排水配管の更新必要間隔								
給水管・排水管:硬質塩化ビニル管								
5.0 0.20 - -								
6 主要設備機器の更新必要間隔								
硬質塩化ビニル管:耐用年数40年								
5.0 0.20 - -								

2.4 信頼性				各室毎に換気・空調系統を区分 2槽式受水槽の採用、井水利用可能	3.2	0.20	-	-	
1	空調・換気設備				4.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備				4.0	0.20	-	-	
3	電気設備				3.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法				3.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備				2.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性					3.0	0.30	2.6	1.00	2.7
3.1 空間のゆとり					-	-	2.2	0.50	
1	階高のゆとり				3.0	-	1.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ	●大切	A(全国版準用)	壁長さ比率:0.294	3.0	-	4.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり					3.0	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性					3.0	1.00	-	-	
1	空調配管の更新性	●大切	A(全国版準用)		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性	●大切	A(全国版準用)		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性	●大切	A(全国版準用)		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性	●大切	A(全国版準用)		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性	●大切	A(全国版準用)		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保				3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)					-	0.30	-	-	2.5
1 生物環境の保全と創出		●とも	A'(全国版準用)		2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮		○	C(独自加点) D(独自基準)		3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮					2.5	0.30	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		●とも、 自然	A'(全国版準用)		3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上		●とも	A(全国版準用)		2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性					-	-	-	-	3.2
LR1 エネルギー					-	0.40	-	-	3.5
1 建物外皮の熱負荷抑制					3.0	0.20	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用		●自然	A(全国版準用)		3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		●自然	C(独自加点)	BEI 非住宅 0.78 住宅(専有部) -	4.0	0.50	-	-	4.0
				モデル建物法BEIm=0.78	4.0	1.00	-	-	
4 効率的運用					3.0	0.20	-	-	3.0
					3.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング					3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制					3.0	0.50	-	-	
					-	-	-	-	
4.1 モニタリング					3.0	-	-	-	
4.2 運用管理体制					3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル					-	0.30	-	-	3.0
1 水資源保護					3.0	0.20	-	-	3.0
1.1 節水					3.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用					3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無	●自然	A(全国版準用)		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減					2.8	0.60	-	-	2.8
2.1 材料使用量の削減		●大切	B(推奨内容) D(独自基準)		3.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用					3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		●大切	B(推奨内容) D(独自基準)		3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		●大切	A'(全国版準用) B(推奨内容)		1.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材		●自然	B(推奨内容) D(独自基準)		3.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		●大切	A(全国版準用)	各客室毎にPS設置	4.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避					3.6	0.20	-	-	3.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用				接着剤、シーリングに☆☆☆製品使用	5.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避					3.0	0.70	-	-	
1	消火剤				-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)				3.0	0.50	-	-	
3	冷媒				3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境					-	0.30	-	-	3.0
1 地球温暖化への配慮				太陽光発電の採用	3.7	0.33	-	-	3.7
2 地域環境への配慮					2.4	0.33	-	-	2.4
2.1 大気汚染防止					3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善		●とも	A(全国版準用)		2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制					2.6	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減				-	-	-	-	
2	汚水処理負荷抑制				3.0	0.33	-	-	
3	交通負荷抑制				3.0	0.33	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制				2.0	0.33	-	-	
3 周辺環境への配慮					3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止					3.0	0.40	-	-	
1	騒音				3.0	0.33	-	-	
2	振動				3.0	0.33	-	-	
3	悪臭				3.0	0.33	-	-	
3.2 風害・砂塵・日照阻害の抑制					3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制				3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制				-	-	-	-	
3	日照阻害の抑制				3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制					3.0	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				3.0	0.70	-	-	
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	●とも	B(推奨内容)		3.0	0.30	-	-	

記号凡例 ●:重点項目 ○:低炭素景観創出に係る項目

重点項目キーワード凡例 「大切」:大切に使う 「とも」:ともに使う 「自然」:自然からつくる